



日光ぶらり 2017 春 / 初夏、好評のうち終了！！

プレDC 記念企画、11のコースを開催！157名参加！

この春は、「四月、五月はまちあるきの月」を合い言葉に、日光ぶらりを集中的に開催しました。11のコースで、延べ157名の参加をいただき、ご好評のうち終了しました！今号は、その様子をお伝えします。



満員御礼！ 弥生祭お囃子稽古の見学ツアー



4月8日（土）と12日（水）の2日間、「弥生祭お囃子稽古の見学ツアー」を開催しました。

両日とも定員の15名に達し、満員御礼での“見学&まちあるき”となりました。日光市内はもとより、県内（小山や栃木など）から、東京方面や遠くは大阪からもご参加いただきました。

お子様連れで参加された方もいらっしゃいました。

1日目は、松原町さん、石屋町さんのお囃子の練習現場、2日目は、石屋町さん、御幸町さん、稲荷町さんにお邪魔しました。付祭当日以外の祭の様子も感じていただくため、今回は、会所や本家体展示場所なども巡り、それぞれ解説いたしました。

参加された方からは「興味深かった」「弥生祭の見方が変わった」などと大変好評をいただいております。

町内毎のお囃子の微妙な違いや、練習の場の空気感、その違い。作法の微妙な違いなどを感じ取っていただけたかと思います。

お祭り当日のハレの日のみではなく、それまでの過程、準備・練習などの場面も観て頂きたい。そういう想いから企画したものでしたが、その想いと意図は（初回開催で手探りながらも）反映できたのではないかと考えます。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

また、ご協力頂きました各町様に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました！

こちら初開催！ 「謎解き稲荷町」



5月4日（木・祝）は、初めてのコース「謎解き稲荷町～なぜ稲荷町はここにある?!」と題して、日光門前の清閑界限・稲荷町を歩きました。

案内人は、当法人事務局長で生粋の“稲荷町っ子”の小池です。

この連休の日光門前の大通りは、驚異的な賑わいでした。

そんな大通りを横目に、江戸時代の面影残る稲荷町界限を、1時間でぐるりとまわりました。

大通りと並行して走る、稲荷町の目抜き通りは、昭和薫る「サンフラワー通り」。今も生きる生業と、往時の活況や街並みをイメージしながら歩きます。

稲荷神社は江戸初期には別の場所に。さて、それはいったいどこで、何故今はこの位置にあるのか？そもそも、町名の基になる神社が無いとなると、町内（まち）も別の場所にあったのでは？

そんな疑問はコースの終盤に明らかになります。

きなこや横丁から神橋側の一段高くなった地形に、江戸の面影が色濃く残ります。お馴染みのシダレザクラや虚空蔵尊などをめぐります。

…さて、なぜこの位置に色濃く残っているのでしょうか。地形的理由や、謎が解くための痕跡も登場しました。最後は小判稲荷（胡桃稲荷）から、大谷川と稲荷川を望み、大通りに団子状に連なる六つの町内とは別に、なぜこの場所に稲荷町が立地するのかの答え合わせをしました。

大通りの賑わいから少しだけ離れて、謎を探りながら、痕跡を探しながらのゆったり一時間。小さな旅でした。

謎が気になる方。是非、次回開催の際にご参加下さい。

日光はなぜ“NIKKO”に!?



5月3日（水・祝）、日光はなぜ“NIKKO”になったのか？をテーマに、さらに建築を主眼にしながら東町から西町へと歩きました。

晴天の中、明治、大正期の日光に想いを馳せ、新緑のまちをぶらぶらと。

約一日かけて、日光門前の“NIKKO”の面影を探したツアー。

案内人は、当法人理事長で自称“散歩師”の岡井です。

JR日光駅では、お馴染みのホワイトルームの他に、なんと特別に貴賓室も拝見できました。（しかも、駅員さんの解説付き！）海外の有名建築家の設計、とまことしやかに言われてきたこの建築。最近判明した設計者とは？そのエピソードとは？

地元では「市役所」としてお馴染みの日光行政センターでは、一階と二階の大会議室も見学させていただきました。

金谷ホテルは歴史の層が気品溢れる佇まいに、そのまま現れています。

日光奉行所跡では、江戸から明治・大正、そして今にかけて、この場所がどのような変遷を辿ったのか思いめぐらせました。

参道を一步入ると静かな空間が。ここが火除け地の庭園として整備されたこと。そこに保見会の碑が今も大きさの割にひっそりと佇んでいること。参道を行く方々のうち、一体どれくらいの方がご存知か。保見会とは…？この書は誰が書いたものか？

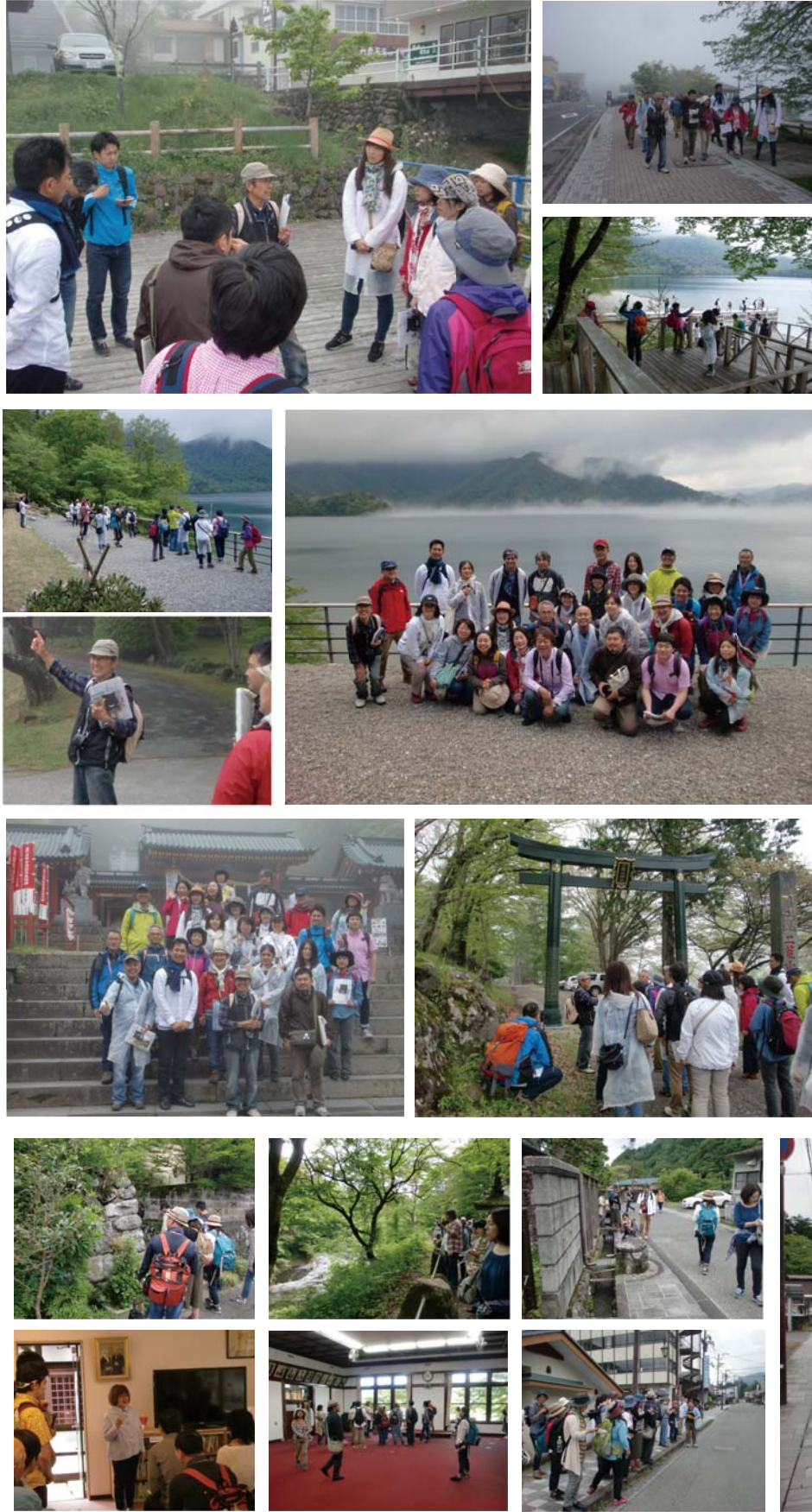
江戸から明治。大きく世の中が変わった時に、①日光はどのように「守られた」のか、②誰によって日光の魅力は再発見されたのか、③世界的観光地NIKKOになるためには、どのような条件が必要だったのか、など、大きく3つのポイントに整理してお話ししました。

こちら…答えは、今後同テーマで開催の「日光ぶらり」で！

参加者延べ
60名!

日光ぶらり × 東京スリバチ学会
全国から地形ファンが大集合!!

「日光は地形だってけっこう凄いぞ! part II」



5月27日(土)、28日(日)の2日間、東京スリバチ学会さんとのコラボで「日光は地形だってけっこうすごいぞ part II～日光はなぜNIKKOに?～」を開催しました。昨年秋に引き続いての開催ですが、今回は、奥日光にも足を伸ばしました。初日の27日(土)は奥日光編。

この日の案内人は、奥日光の歴史に詳しい郷土史家で中宮祠自治会会長の小島喜美男さん。日光自然博物館の森田孝道さんにも加わっていただき、中宮祠の船の駅を出発し、中禅寺湖畔を歩きます。最初に向かったのは西六番園地。長崎のグラバー邸で知られるトーマス・グラバー、ハンス・ハンターの別荘跡地で、150年前当時の石の暖炉や煙突跡が今も残ります。

本来であれば絶好のロケーションなのですが、この日は生憎の深い霧。中禅寺湖も男体山も残念ながら見え、その後乗船する予定だった遊覧船も欠航となってしまい、コースを一部変更し、中宮祠二荒山神社や巫女石などを見ながら、歌が浜方面へ向かいます。

昨年再整備された英大使館、そして伊大使館別荘を見学し、往時の外交官の優雅な避暑地生活を体感。夕暮れも近づくと、霧も晴れて、幻想的な湖面が顔を覗かせ、その美しさに息を呑みました。

「日光はなぜNIKKOに?」を紐解きながらの小さな旅となりました。2日目の28日(日)は日光門前編。昨日とは打って変わって、快晴。この日は、当法人の岡井健理事長が皆様をご案内。日光総合会館を出発し、西町～山内～東町と、日光門前を歩き尽くします。

午前中はこれまではあまりご案内してこなかった憾満ヶ淵・化け地藏や、火の番屋敷跡などを巡り、金谷ホテル歴史館(金谷侍屋敷)へ。坂巻館長さんからは金谷ホテルの歴史について解説をいただきました。

午後は、二荒山神社、東照宮へ。途中、山内にひっそりと佇む保晃会碑や、稲荷川へと続く江戸時代の古道へも寄り道。

東町では、金谷ホテルや日光行政センター、稲荷町の河岸段丘など縦横に歩きまわってJR日光駅でゴール。歴史あり地形あり、なんでもありの日光門前“全部乗せ”コース!を堪能しました。

両日とも、好奇心旺盛な30名を超える皆様(延約60名!!)にご参加いただき、盛り沢山の2日間となりました。ガイドいただきました小島さん、坂巻さんはじめ各所でご協力いただきました関係各位の皆様、ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました!

日光ぶらり参加者の“こえ”

日光ぶらりに参加いただいた方々の感想の一部をお届けします!

日光は東照宮、二荒山神社には多々参っていましたが門前町については全く存じ上げず、とても楽しい2日間でした。山内をとってもまだまだ知らないことが多く、勝海舟の書いた碑や、日光水道事業、稲荷町移転にまつわる街の謎。大変楽しいあつという間の時間でした。

街の歴史、地形の歴史、大変興味深く、なかなか拝見できない古地図や資料も魅力的でそして何より皆様の日光への愛が何より素敵でした。

とても貴重な機会をどうもありがとうございました。心より感謝申し上げます。また参加させていただきます。その節はまたどうぞよろしく願いいたします。

弥生祭は知っているし見たことがあるけど、練習風景が見学できるなんて貴重なツアーは素晴らしい。子どもたちの一生懸命に練習する様子に感動した。お祭り本番も来たい!

日光に引っ越して来て、お祭りはなんとなく知っていたが、ツアーで理解が深まった。

オリジナリティ耀く素晴らしいガイドをありがとうございました。日光は何故“NIKKO”になったのか、のひとつに日光を守った人の存在がありましたね。

二度目の日光でしたが、とても身近に感じる事ができ、大好きな街になりました。大感謝です!

訪問する機会に乏しかった日光…今回のFWを通じ、若かりし頃からもっと行くべきだったと、反省しきりです。街そのものは勿論、その地に住まう方々の優しさに触れ、とても日光が好きになりました。

先人達や日光に住まう方たちの思いに触れ、参加できて本当に良かったです。またの機会に是非参加させてください^-^ (次回は山が綺麗に見えますように)

日光でこんなに面白いツアーをやっているなんて知らなかった!もっとPRして欲しい!

日光は京都に負けないし、今日のツアーは京都のまちあるきよりも面白かった!!
また参加したい!

霧もまたよし。
幻想的な中禅寺湖。
今度は青い湖を見に来よう。

日光を愛する方々の、伝え、守る活動があってこそその世界遺産!感激でしたね!!

お陰様で通常の観光では出来ない体験をすることができました。
家族で日光に行く際に自慢したいと思います。

「日光門前応援団」募集中!

NPO法人日光門前まちづくりでは、「日光門前応援団」として一緒にまちづくり活動をできる方を募集中です。入団希望の方は、事務局までお問い合わせください。

様々な事業と一緒に日光門前を盛り上げましょう!よろしく願いいたします。